

第5回大仏書道大会レポート

従来の書道大会が教科書的な技術を競うのに対し、奈良 21 世紀フォーラムが主催する「大仏書道大会」は、基礎技術はもちろん大切な要素としながらも、書の文化の伝承のため、これからの書の可能性を感じさせられるような自由な感性を重要視するユニークな試みです。

平城遷都 1300 年記念の平成 22 年に始まった大仏書道大会も今年で 5 回目を迎えました。全国の 74 高校・大学・個人から 1580 点もの応募があり、前年より数百点増加しました。東大寺の森本公誠長老を審査委員長に迎えて 100 点の入選作品を選び、なかでも優れた 7 点を特別賞としました。

特別賞 7 点と審査風景



東大寺賞「般若心経」

山の手養護学校（北海道札幌市）木明遥さん

奈良県知事賞「早春の陽ざし」

山の手養護学校（北海道札幌市）塩田蓮さん

奈良県教育長賞「賢愚経（大聖武）」

芥川高校（大阪府高槻市）伊藤結香さん

奈良市長賞「花」

糸島高校（福岡県糸島市）志度澤彩華さん

奈良市教育長賞「大仏様の左手で願いを叶える」

草加高校（埼玉県草加市）渡邊加奈子さん

朝日新聞社賞「人面土器が伝える想い」

草加高校（埼玉県草加市）辰己絵里子さん

奈良 21 世紀フォーラム理事長賞「また明日。」

今宮高校（大阪府大阪市）尾崎愛衣奈さん



100点の入選作品は平成26年10月25日（土）から26日（日）の2日間、大仏殿西回廊で展示しました。国の内外・老若男女を問わず約1200名もの来場があり、境内の静寂な雰囲気のほか、多くの方が足を止めては見入っていました。



26日には「席書会」を回廊で行い、約20名の高校生・大学生が参加しました。森本長老から大仏さまをめぐる遠大な思想について講話いただいた後、筆を取りました。華嚴経のエッセンスである華嚴唯心偈（百字心経）を写経し、自由題で創作作品を書き、大仏さまの前へ登壇して奉納しました。

